



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立南郷小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

○朝読書

朝の会の前 10 分間で『全校朝読書』を行っています。朝読書を継続することで、心を落ち着けて一日のスタートをすることができます。また、『様々な本に触れ、関心をもつこと』や『読解力・語彙力の向上』にもつながります。

○読書通帳

図書館で本を借りるとき、『読書通帳』に本の名前を記録しています。10 冊読むと新しい通帳としおりがもらえます。たくさん本を読むと『読書通帳』がふえていくので、達成感をもつことができます。また、これまでの読書の記録を振り返り、次の本を選ぶヒントにもなります。



○読み聞かせ

本校では、子どもがより本に親しむために多くの読み聞かせを行っています。



『1 年生の図書館の使い方・読み聞かせ』『教職員の読み聞かせ』『図書ボランティアの読み聞かせ』などの読み聞かせ活動を通して、多くの本に触れることで、自分の選書に生かしたり、読書活動の充実につながったりします。

学習センターとしての機能

○4年『本のポップや帯を作ろう』

友達に「この本読んでみたい。」と思ってもらえるように、短い言葉や工夫した構成やレイアウトを工夫して、読み手の心を動かすポップや帯を完成させました。図書館で掲示することで他の学年も見ることができ、取り組みの成果を発表する機会にもなりました。



○5・6年『本は友達【選書会】』

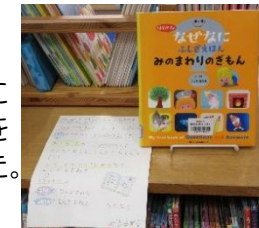
5・6年生を対象に選書会を行いました。選書会のテーマは『南郷小図書館の充実』です。自分が読みたい本を選ぶのではなく、今までの学習を生かした視点での選書を重点に行いました。「総合の学習で調べるのによさそう。」「4年生で星を習うから、理科の学習に生かせそう。」など、今までの学習経験を基に、下級生の学習内容や発達段階を意識して本を選定することができました。相手の学びを豊かにしようと思いやりをもって活動する姿がありました。



情報センターとしての機能

○本の紹介ポスター

図書委員会では、図書館に本の紹介ポスターを作成し、掲示しました。図書委員が読んだ本を分かりやすくまとめることで、読む人の興味を引き付けるものとなりました。委員会では、年間を通してポスターをアップデートすることで、新しいポスターになったときに来館者は興味をもって読む姿が見られました。



○特別コーナー



子どもたちが「次は何を読もうか。」「関連する別な本も読んでみたい。」と、自発的に次の読書へと関心が広げられる環境を生み出しています。

開放図書館司書の御協力の下、子どもたちの興味・関心に寄り添う『作家の特別コーナー』を定期的に設置しています。授業で習った作品に興味をもった